

滝ヶ谷公園ニュース第34号



滝が谷公園の自然：百舌鳥の早贄^{モズ}の早贄^{ハヤニエ}

落ち葉から堆肥へ



ウメの枝で見つけた
トカゲの死骸
(12月 滝が谷公園)



モズ(雌)
(インターネットより)



カリオンの東側に植えた梅の木の手入れをしていたら、トカゲの死骸が枝に吊されているのを見つけました。これは「モズのはやにえ」と言われ、鋭いくちばしを持った小形の猛禽であるモズが、仕留めた獲物を冬になる前に木の枝に串刺ししておく習性によるものです。

なぜこのような習性があるかについては諸説あるようですが、モズは足が発達していないので獲物を食べるためには枝に串刺しとすることが必要がある、冬になる前にできるだけ多くの獲物を得ようとする という説がもっとも納得できるように思われます。グロテスクですがこれも自然の営み。1月末現在、まだウメの枝に残っていますので、一度ご覧になって下さい。



左：堆肥化した昨年の落ち葉 右：今年の落ち葉

今年の冬も公園内の歩道脇や側溝にたまった落ち葉をせっせと落ち葉槽に運ぶ作業を行っています。写真(上)は昨年集めた落ち葉が一年で黒々とした堆肥に変わったことをよく表しています。この堆肥は園内のサクラなどの施肥に利用しています。

団地や小さな公園では掃き集めた落ち葉を指定ビニール袋に入れて捨てますが、広大な滝が谷公園では落ち葉の量がふろおけ20杯分ぐらいになるのでビニール袋詰めはやってられない、資源の再利用にもなるということで10年前から堆肥リサイクルを行っています。



側溝は最良の堆肥化槽でもある

写真(下)は側溝の中で落ち葉と樹の根が混ざって数年間熟成された良質の堆肥です。根が張っているので側溝から取り出すのに苦労しますが、よく発酵しているので実に良い黒色をしています。

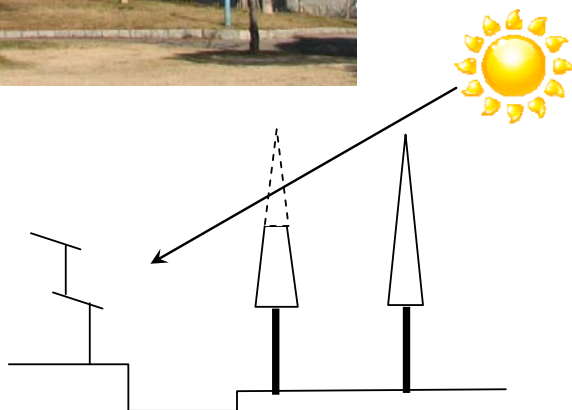
メタセコイヤの^{せんてい}剪定



公園の北東端にあるメタセコイヤ木立は2008年わがまちのシンボル樹にも選ばれましたが、樹高が15m近くあるため一部の木は北側の隣接住戸にとって日照障害となっていました。

このため西部建設事務所をお願いして、少し強目の剪定を行って頂きました。

公園の樹木はなるべく自然のまま育てながら、時に防犯や日照、景観の観点から手入れを行うことも必要となります。常駐管理者がいない都市公園では、いつどのような手入れを行うかは周辺住民の意見や知恵に負うところが大きいと言えます。美しくし隊ではそのような意見、知恵の蓄積に今後も注力していきたいと思えます。



アンケートご協力ありがとうございました



ニュース31号で触れた「桜を覆うウバメガシを刈り込む構想」について写真のような立て看板書き込みアンケートを12月に行いました。初めての試みでしたが、2週間余りの間に書き込み欄を埋め尽くす30件のご意見を頂くことができました。ありがとうございました。

結果は「桜を活かすためならウバメガシを刈り込むのもよいか」「自然のままがよい。刈り込みは不要」という意見がほぼ半々でした。今後このご意見を参考に西部建設事務所とどのような手入れが適当か検討していきます。

春が楽しみ、

公園中央にある木製花壇では今レンゲの種をまいています。

春に花が咲くのを心待ちにしています。



滝が谷公園ニュース 第34号

発行日：2010年 1月31日（おむね季刊年4回発行）

発行人：公園美緑花ボランティア 滝が谷公園を美しくし隊

代表：川村武也 神の谷3-5-20, kawatake@r5.dion.ne.jp

携帯070-5654-0611

滝が谷公園を美しくし隊は、次の地域団体にご協力頂いております
～ ガーデンハウス名谷第2団地管理組合、名谷コーポタウン団地管理組合、神の谷児童館 ～

2月～4月の活動予定日(毎月第1・3日曜)

2月7日・21日、3月7日・21日

4月4日・18日（各15時～17時）

どなたでもご参加下さい。お待ちしております。

リニューアル! 滝が谷公園ホームページ

<http://takigatani-park.com/>